

施工計画書の内容区分

事項	内 容	一般工事	小規模な 工事注1)	単純工種 注2)	単価契約	備考	
1	工事概要	契約図書に基づき記入する。	○	○	○		
2	計画工程表	バーチャート又はネットワークによる。 曲線式工程表を付加する。	○	○	○		
3	現場組織表	契約図書により必要な管理者（責任者）を定め組織表及び施工体系図を作成する。 管理者（責任者）は夜間の連絡先を記入する。	○	○	○	○	
4	安全管理	安全委員会の構成又は安全管理組織表を作成する。 安全活動の方針、安全対策、事故発生時の措置（連絡方法等）及び安全訓練等の実施について記述する。	○	○	○	○	
5	緊急時の体制 及び対応	大雨、出水、強風等の異常気象時における作業現場の防災管理体制と災害発生時の対策及び作業現場内において事故発生又はそのおそれがある場合の体制と対策等について記述するほか、緊急時の連絡系統、連絡方法も系統図で表示する。	○	○	○	○	南海トラフ地震臨時情報に伴う臨機の措置を記述する。
6	交通管理	当該工事等に伴う交通対策と交通処理等について記述する。	○	○	○	○	
7	主要機械	実施工程表にあたって考慮した主要機材の機種、性能、台数等についての一覧表を作成する。	○	—	—	—	
8	主要資材	使用する主要材料の品名、規格、数量と必要に応じ会社名等の一覧表を作成する。	○	○	○		
9	施工方法 (仮設備計画、 工事用地等を含む)	主要工種について、工事の安全を考慮して施工順序等を記述する。ただし、一般的な施工方法は省略するが、他工事との関係調整、地下埋設物件の対策、用排水調査、他官公庁との協議、工事公害に対する配慮、地元への周知、苦情に対する措置方法等も必要に応じて記述する。 また、仮締切、仮道路、仮橋、仮土留、防護工事等主要な施設は記述する。 主要な仮設備は必要に応じて計算書を添付する。	○	—	—	—	施工フロー図等により簡潔に記述する。
10	施工管理	工程管理	工程管理の方法を記述する。	○	—	—	
		出来形管理 品質管理	施工管理基準及び仕様書に基づき当該工事等に必要の測定項目、試験項目を作成する。 主要なものは試験方法、管理方法、試験場所等も記述する。維持管理作業は別途考慮する。				
		写真管理	写真管理基準（案）に基づき撮影計画を作成する。				
11	環境計画 (現場作業環境 の整備)	環境対策は地元住民及び第三者との連絡、建設工事の公害、規制等の実施事項を記述する。 また、現場作業環境の整備、工事現場の環境改善等についても記述する。	○	—	—	—	
12	再生資源の利用促進及び建設副産物の適正処理方法	再生資源の利用に関する法律に基づき、建設副産物に係る利用促進及び処理計画に関する事項を記述する。	○	○	○	—	
13	電子納品実施計画	電子納品を実施する場合は、電子納品の作成に関する事項を記述する。	○	○	○	○	注3)
14	その他	設計図書で施工計画書に明記又は記載するよう指示されているもの及び監督職員の指示事項を記述する。	○	—	—	—	

注1) 小規模な工事とは、1,000万円以下の工事をいう。

注2) 単純工種とは、維持補修、標識設置、区画線、防護柵、除草、清掃、塗装、植栽等に類する工事をいう。

注3) 災害復旧における仮復旧工事は対象外とする。